

令和 3 年 度

決 算 説 明 資 料

令和 4 年 10 月 6 日

上 下 水 道 局

目 次

〔水道事業会計〕

	頁
1 水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について……………	1
2 水道の水源施設建設負担金について……………	2
3 水道の水源施設管理費負担金について……………	3
4 有収水量及び給水収益の推移について……………	4
5 水道料金の福祉減免の推移について……………	5
6 水道スマートメータに関する共同研究について……………	6

〔工業用水道事業会計〕

7 工業用水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について……	7
8 工業用水道の水源施設建設負担金について……………	8
9 工業用水道の水源施設管理費負担金について……………	9

〔下水道事業会計〕

10 名古屋中央雨水調整池等の進捗状況について……………	10
11 水処理センターの停電対策について……………	11
12 堀川上中流部及び新堀川上流部における雨天時水質調査結果について…………	12
13 水処理センターの今後のあり方に関する有識者懇談会における意見 について……………	20
14 堀留水処理センターの上部空間の有効活用に係る経済水道委員会説明資料 (令和3年3月15日)について……………	21
15 雨水ます清掃について……………	23

〔共通〕

16 工事請負契約における1者入札の状況について……………	24
-------------------------------	----

〔参考〕

道路冠水について……………	25
---------------	----

1 水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について

(1) 水需要予測

(単位 万 m^3 /日)

目 標 年 次	27年度
一日最大給水量	124

(2) 給水実績

区 分	2年度	3年度
一日最大給水量 (万 m^3 /日)	81.7	79.7
年間給水量 (万 m^3 /年)	27,736.9	27,400.2

(3) 河川ごとの給水可能量

(単位 万 m^3 /日)

区 分	木曽川	長良川	揖斐川	計
水利権の給水可能量	160.6	16.1	8.0	184.7
10年に1回程度の 渇水年の給水可能量	106.3	12.1	5.7	124.1
平成6年相当の 給水可能量	81.6	4.8	3.0	89.4

2 水道の水源施設建設負担金について

(単位 百万円)

区 分	2年度	3年度
揖 斐 川	1, 3 4 7	1, 0 7 7
徳 山 ダ ム	1, 3 3 8	1, 0 6 9
木 曾 川 水 系 連 絡 導 水 路	8	9

(注) 端数処理の都合上、揖斐川欄の負担金額と内訳の合計は一致しない。

3 水道の水源施設管理費負担金について

(単位 百万円)

区 分	2年度	3年度
長良川河口堰	62	57
徳山ダム	141	135

4 有収水量及び給水収益の推移について

(1) 有収水量

(単位 千 m^3)

区 分	2年度	3年度	対前年度 増 減 量
居 住 用	206,632	203,591	△3,041
居住用以外	56,978	57,262	285
計	263,610	260,853	△2,756

(注) 端数処理の都合上、内訳の差引と対前年度増減量は必ずしも一致しない。

(2) 給水収益

(単位 百万円、税抜)

区 分	2年度	3年度	対前年度 増 減 額
居 住 用	23,019	24,227	1,208
居住用以外	15,615	16,161	546
計	38,634	40,389	1,754

(注1) 端数処理の都合上、内訳の合計と計及び内訳の差引と対前年度増減額は必ずしも一致しない。

(注2) 2年度の8月及び9月に基本料金の2か月分を減額しており、その額は2,020百万円(減額しなかった場合の対前年度増減額は△266百万円)

5 水道料金の福祉減免の推移について

(1) 減免の延べ件数及び減免金額

区 分	2 年度		3 年度	
	件 数 (件)	金 額 (千円)	件 数 (件)	金 額 (千円)
生 活 扶 助 受 給 世 帯	292,041	196,276	294,442	212,943
児童扶養手当 受 給 世 帯	125,081	84,065	125,393	90,685
障 害 児 世 帯	29,096	19,555	29,705	21,483
障 害 者 世 帯	16,598	11,155	16,989	12,287
生活支援給付 受 給 世 帯	1,653	1,111	1,609	1,164
高 齢 者 世 帯	0	0	0	0
計	464,469	312,161	468,138	338,562

(注) 端数処理の都合上、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

(2) 一般会計からの繰入額

(単位 千円)

区 分	2 年度	3 年度
繰 入 額	111,934	111,847

6 水道スマートメータに関する共同研究について

協 定 先	中部電力株式会社	愛知時計電機株式会社
目 的	・通信品質の検証 ・データ利活用方法の検討	・通信環境の確認 ・通信品質の検証 ・通信事業者の違いによる通信成功率の検証 ・データ利活用方法の検討
期 間	2年度～5年度	3年度～6年度
通信方式	多段中継方式	セルラー系LPWA
対象物件	北区及び熱田区の集合住宅 各1棟	緑区内一部エリアの戸建・集合住宅、学校、公園、飲食店、複合施設
メー タ 設 置 数	28個（北 区） 104個（熱田区）	116個
事 業 費	9,380千円	6,548千円
2年度	9,047千円	—
3年度	170千円	880千円

(注) 事業費は協定期間中における概算額であり、2年度及び3年度の事業費は決算額である。

7 工業用水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について

(1) 水需要予測

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

目 標 年 次	27年度
給 水 量	97,000

(2) 給水実績

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

区 分	2年度	3年度
一日平均給水量	63,257	62,812

(3) 河川ごとの給水可能量

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

区 分	庄内川	揖斐川	計
水利権の 給水可能量	93,000	56,000	149,000

(注1) 庄内川からの取水は、かんがい期に限られる等の課題がある。

(注2) その他の水源として、河川の他に下水処理水等がある。

8 工業用水道の水源施設建設負担金について

(単位 百万円)

区 分	2 年度	3 年度
揖 斐 川	4	4
木 曽 川 水 系 連 絡 導 水 路	4	4

9 工業用水道の水源施設管理費負担金について

(単位 百万円)

区 分	2 年 度	3 年 度
徳 山 ダ ム	6 3	6 1

10 名古屋中央雨水調整池等の進捗状況について



(注) 工事費の全体は、3年度末までに契約した額の合計

1 1 水処理センターの停電対策について

(1) 基本的な考え方

長時間の停電時にも汚水処理機能を確保するため、水処理センターの非常用発電設備の燃料備蓄量が72時間分となるよう機能強化を進める。

(2) 実施状況

(令和3年度末)

名 称	燃料備蓄量 (時間分)	処 理 能 力 (m ³ /日)
堀 留	13	200,000
熱 田	23	38,000
露 橋	45	80,000
伝 馬 町	32	80,000
西 山	13	15,000
山 崎	33	120,000
岩 塚	34	200,000
千 年	54	100,000
名 城	32	100,000
鳴 海	16	150,000
柴 田	12	210,000
打 出	30	280,000
宝 神	43	150,000
守 山	78	133,000
植 田	25	120,000

1 2 堀川上中流部及び新堀川上流部における雨天時水質調査結果について

(1) 堀川上中流部

ア 東水切町付近雨水吐室

調査日	BOD (mg/L)
4月 4日	6 9
4月14日	4 6
9月 9日	1 1
10月13日	7 5
11月 9日	7 3
12月 1日	4 9
2月20日	5 8

(注) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

イ 小塩橋

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
4月13日	1.0	480	110
4月13日	9.0	1,100	160
5月17日	1.1	480	63
5月21日	6.3	350	78
5月21日	5.0	230	90
6月 4日	6.3	38	8.0
6月 4日	4.6	110	25
7月 7日	3.6	55	5.0
7月 7日	4.8	70	13
8月 3日	5.7	650	170
8月 3日	5.3	310	65
11月 9日	4.6	39	6.4
11月 9日	3.4	34	9.0
11月22日	2.7	5.1	0.3

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

ウ 巾下橋付近雨水吐室

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
5月21日	9.9	190	18
7月 7日	40	3,500	290
7月 7日	31	1,700	340
8月 3日	29	750	63
8月 3日	7.9	270	75
11月22日	35	200	16

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

エ 新洲崎橋雨水吐口

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
5月17日	37	9,300	1,900
5月21日	11	360	55
5月21日	10	330	58
6月 4日	37	5,500	1,200
7月 7日	34	3,300	1,100
7月 7日	25	2,800	490
8月 3日	39	8,500	1,500
8月 3日	27	3,900	380
11月 9日	22	3,800	1,100
11月 9日	17	1,800	1,000
11月22日	44	1,100	100

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

(2) 新堀川上流部

ア 千早交差点付近雨水吐室

調査日	BOD (mg/L)
4月 4日	81
4月14日	39
5月17日	37
7月 2日	13
9月 9日	4.8

(注) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆

イ 舞鶴橋

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
4月13日	29	160	7.5
4月13日	25	98	5.0
5月17日	52	3,300	1,200
5月17日	41	3,300	900
5月21日	6.3	250	130
5月21日	5.2	290	60
6月 4日	46	770	85
6月 4日	21	540	70
7月 7日	37	14,000	5,200
7月 7日	45	11,000	2,100
8月 3日	28	3,900	950
8月 3日	29	3,000	1,100
11月 9日	21	820	140
11月 9日	15	160	76
11月22日	74	7,200	160
11月22日	50	1,800	62

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆

ウ 若宮大通久屋交差点付近雨水吐室

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
5月17日	46	3,700	1,500
5月21日	8.4	190	25
5月21日	9.1	260	40
6月4日	60	3,700	2,100
6月4日	42	1,900	1,200
7月7日	68	5,400	2,400
7月7日	27	2,200	190
8月3日	53	19,000	2,700
8月3日	44	6,900	1,100
11月9日	21	190	240
11月9日	28	520	760
11月22日	120	4,100	140
11月22日	31	420	120

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆

エ 鵜橋左岸雨水吐口

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
5月21日	6.3	250	83
5月21日	10	180	93
7月7日	40	3,200	1,800
7月7日	24	1,700	330
8月3日	28	2,900	710
8月3日	8.9	570	75
11月9日	22	650	640
11月9日	20	980	660
11月22日	93	2,300	260

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆

(参考) 水質汚濁に係る環境目標値

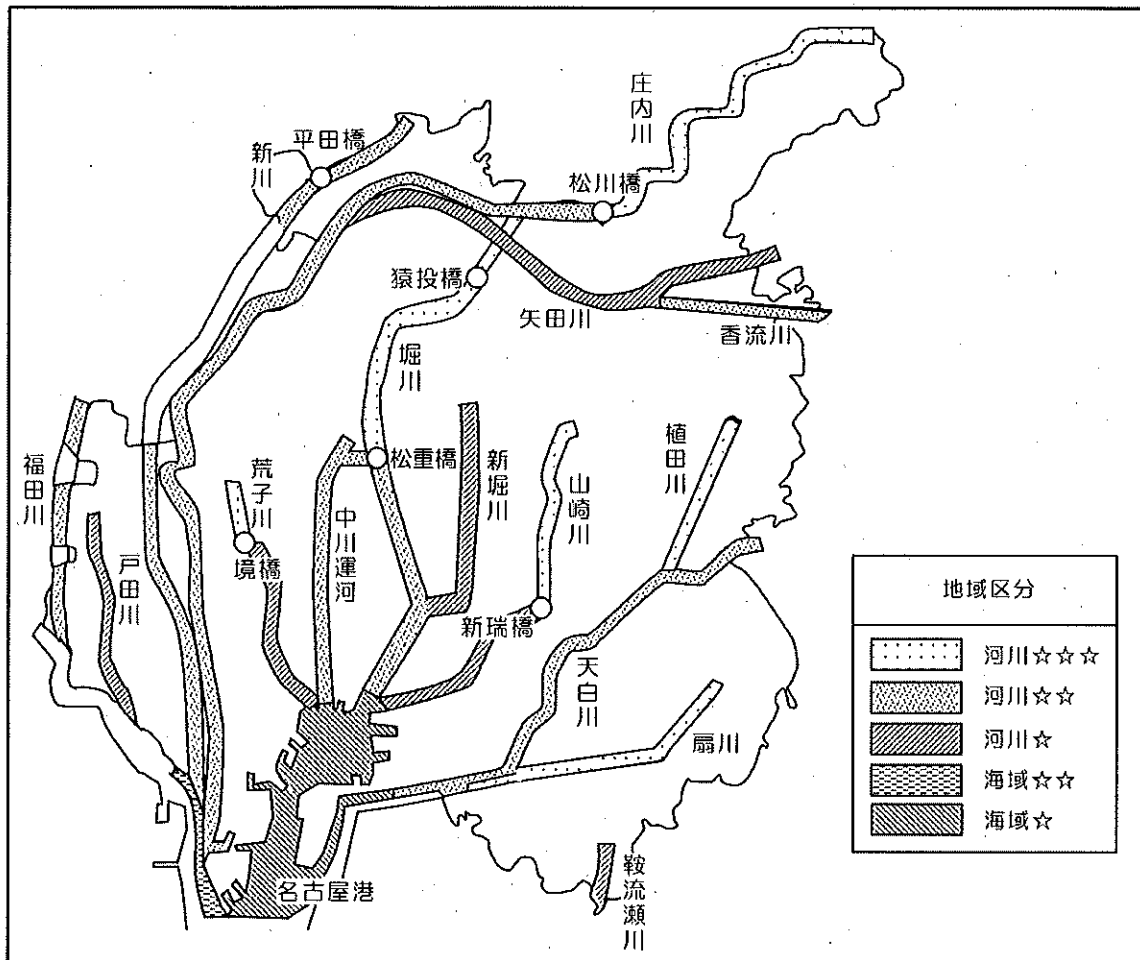
(1) 水質汚濁に関する目標

区 分	河川			ため池		海域	
	☆☆☆	☆☆	☆	☆☆	☆	☆☆	☆
水質のイメージ	川に入っ ての遊 びが 楽し める	水際 で の遊 び が 楽し める	岸 辺 の 散 歩 が 楽し める	水際 で の遊 び が 楽し める	岸 辺 の 散 歩 が 楽し める	水際 で の遊 び が 楽し める	岸 辺 の 散 歩 が 楽し める
生物化学 的酸素 要求量 (BOD)	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下	8 mg/L 以下	—	—	—	—
ふん便性 大腸菌 群数	1,000 個/ 100 mL 以下	—	—	—	—	—	—

(注) 平成17年7月名古屋市告示第402号

最終改正 平成25年9月名古屋市告示第506号から
抜粋

(2) 地域区分



1 3 水処理センターの今後のあり方に関する有識者懇談会における意見について

(1) 有識者懇談会の内容

区 分	日 付	主 な 内 容
第1回	6月3日	・ 水処理センターの現状と課題 ・ グループ化によるあり方の検討
第2回	7月27日	・ あり方及び再構築の検討方針 ・ 求められる機能、役割
第3回	10月21日	・ 中南部グループにおける再構築方針 ・ 水処理センターの今後のあり方

(2) 水質浄化に係る主な意見

- ・ 現在の水処理センターの放流先河川の水源が無くなることによる影響について、関係部局と連携しながら検討をしていく必要がある。
- ・ 集約後の水処理センターでは、放流先河川の環境改善について考慮すべきである。

1 4 堀留水処理センターの上部空間の有効活用に係る経済水道委員会説明資料（令和3年3月15日）について

1 4 堀留水処理センターの上部空間の有効活用について

(1) 調査業務委託

ア 予定額

(単位 百万円)

区 分	3年度
委託料	30

イ 検討内容

項 目	内 容
有効活用の事業化に向けた調査	・基礎調査（既存下水道施設の調査や関連法令の整理等） ・現地測量 ・上部利用を図るために必要となる下水道施設の移設や補強等の整備計画の策定（注）

（注）別途実施する有効活用開始までの期間短縮に向けた新技術等の検証結果を踏まえて策定

(2) スケジュール

年 度	内 容
元年度	・ 庁内プロジェクト協議会（注1）を開催し、活用を図る上での課題整理等を実施 ・ 堀留水処理センターの構造面や維持管理面の課題等の検討のため、調査業務委託を実施（注2）
2年度	・ 庁内プロジェクト協議会を開催し、事業化に向けた条件整理等の基礎的な検討を実施 ・ 上部空間の有効活用に向けた施工方法等について民間事業者へのヒアリングを実施
3年度	事業化に向けて、庁内プロジェクト協議会（注3）を開催するとともに、堀留水処理センター上部空間の有効活用の事業化に向けた調査業務委託を実施予定
4年度 ～ 9年度	事業化検討・事業提案の公募等・工事予定
9年度	有効活用開始予定

（注1） 観光文化交流局、住宅都市局、緑政土木局及び上下水道局の関係部長級職員で組織する「堀留水処理センター上部空間等の活用に関する庁内プロジェクト協議会」

（注2） 2年度も引き続き実施

（注3） 新たに経済局を加えた体制で実施予定

1.5 雨水ます清掃について

(1) 委託費用

(単位 千円、税抜)

2年度	3年度
394,426	422,725

(2) 実施回数

区 分	2年度	3年度
雨水ます	630,720	629,155
浸透雨水ます	89,718	92,926
計	720,438	722,081

1 6 工事請負契約における 1 者入札の状況について

(単位 件)

契約金額	契約件数	落札率			
		90%未満	90%以上 95%未満	95%以上	100%
1 億円以上	2 4	2	5	1 7	0
1,000 万円以上 1 億円未満	1 2 5	6	1 4	1 0 5	2 5
1,000 万円未満	1 5 3	4	2 1	1 2 8	3 5
計	3 0 2	1 2	4 0	2 5 0	6 0

(注 1) 契約金額は当初契約時点のもので、消費税及び地方消費税を除く。

(注 2) 競争入札による工事請負契約全体件数は 8 3 2 件である。

道路冠水について

発生日	行政区	箇所数	計
7月14日	中 区	1	7
	昭和区	1	
	中川区	1	
	港 区	2	
	守山区	2	
8月13日	北 区	1	6
	西 区	3	
	中村区	1	
	中川区	1	
8月17日	港 区	1	1

(注1) 通行不能又は通行規制が必要となった箇所

(注2) 防災危機管理局が愛知県庁へ被害状況報告を行う「災害発生状況等（確定報告）」を基に作成した。

